特別地方公共団体　神奈川県内広域水道企業団 広報誌

みずき便り

No.18
2014.10

特集

“安全・安心”をかなえる水運用

Q1「神奈川県内広域水道企業団」が一日に供給する水の最大量は、横浜ランドマークタワーの**何個分**？

A.0.8 個分　B.1.3 個分　C. 1.8 個分

※答えは中面を参照してください

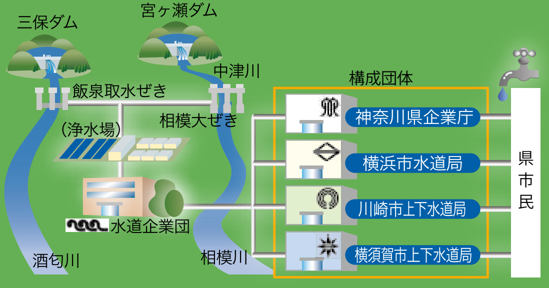
Q2「飯泉取水管理事務所」から「西長沢浄水場」まで（約 54km）水が到達するのにかかる**時間**は？

A.6 時間　B.8 時間　C.10 時間

Q3 使用水量が多いのは、次の**天気**のうちどれ？

A. 晴れの日
B. 雨の日
C. 曇りの日

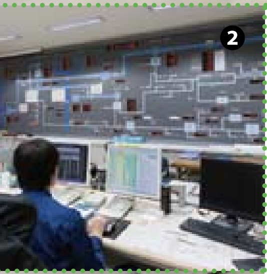
神奈川県内広域水道企業団とは



三保ダムと宮ヶ瀬ダムに貯めた水を浄水処理し、構成団体を通じて、県市民の皆様に、安全で安心な水道水を供給している「特別地方公共団体」です

特集 “水源から蛇口まで”水を安定供給

“安全・安心”をかなえる水運用



蛇口をひねれば当たり前のように流れ出る水。その「当たり前」の光景を実現させるために、24 時間 365 日、奮闘している人たちがいます。今回は、水の安定供給を支える「水運用センター」を取材しました。

24時間365日休まず稼働 水道の“頭脳的”な存在

神奈川県内広域水道企業団は、酒匂川と相模川から水を取水し、4つの浄水場で水道用水を作っています。その水を、県内に 40 カ所近くある「給水地点」を通じて、神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市（構成団体）の各水道局に届けています。その量は、構成団体全体で使われる水道水の 56.8%になり、一日の最大可能水量では 265 万 2400m^3！ 横浜ランドマークタワーを巨大なコップに見立てて、その 1.3 個分の水量に相当します。

その莫大な量の水の調整、制御、監視を行っているのが横浜市旭区にある「水運用センター」です。ここでは、1班3人、全6班 18 人の職員が、昼夜2交替、6勤務体制で、24 時間 365 日、水の安定供給のために目を光らせています。

彼らの仕事は“水源から蛇口まで、水を効率良く安定供給”すること。センターには、神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市から依頼される水の供給量をはじめ、ダムや取水地点、浄水場や各給水地点の情報が、リアルタイムで集まってきます。それらの情報を合わせて総合的に判断し、的確な水の需要予測を立て、各所に適切な指令を出す、いわば水道の“頭脳的”な存在なのです。

❶「水運用センター」の要、「グラフィックパネル」。取水施設や浄水場、各給水地点の情報が表示されています。経験を積むと、このパネルを見れば一目で水の動きが分かるのだそう　❷過去のデータと見比べて、水の需要量を毎時間ごとに予測　❸各施設からの情報や水運用センターからの指令は、この鉄塔に取り付けられた無線アンテナで送受信している　❹水の需要予測に必要な情報がすべて納められた「水運用サーバー」　❺各構成団体への水を供給する給水地点との情報をやり取りするための「遠方監視制御装置」　❻給水地点等の装置や設備の分厚い取扱説明書が並ぶ「書庫」。定期的に各施設をめぐり、メンテナンスをしている　❼水運用センターに隣接した土地の地下には、「矢指調整池」が。調整池とは、浄水場できれいにした水をスムーズに給水できるよう、大量に貯めておく巨大な水槽のようなもの　❽調整池の水量を調整する「流入バルブ」

分析力、判断力と経験が要 「水の需要予測」とは？

水の安定供給を支える大きな柱の一つ「水の需要予測」とは、一体どんなことをするのでしょうか？

使用される水の量は、刻一刻と変わります。たとえば、雨、晴れ、曇り

Q&Aの
解答はコチラ

といった気象条件の変化。洗濯をする家庭が多い晴れの日は、水の需要が増えがち。正月やお盆、ゴールデンウイークといった休日は、帰宅時間帯の水量の増加が顕著だそう。ワールドカップやオリンピックのテレビ中継でも、一般家庭をはじめとする使用水量に変化が出ることが。このように水需要は生活と密接な関係があることから、使用水量の予測、すなわち「水の需要予測」が欠かせません。センターでは「比較日」と呼ばれる過去の似たような季節、曜日、天候の日のデータをもとに、1時間ごとの使用水量を予測しています。

ところが、時には予期せぬアクシデントが起こることも。取水地点付近で落雷があり機器が停止したり、河川の水質が悪化したり…。東日本大震災のような大規模災害が起こる可能性もあります。そのような事態も冷静に判断し、酒匂川、相模川の２水系を駆使して減断水を回避する危機管理も重要な仕事。5～15 分と短時間での判断を迫られる場面も多々あるそう。

私たちの暮らしに欠かせない水道水。蛇口の向こうで職員たちが水の安定供給のために奮闘しているのですね。

Column この方にお話を聞きました！

神奈川県内広域水道企業団
技術部　水運用センター
技師
保永健治さん

気温の変化や気象の変化、水質の変化、浄水場の水量などを、常に意識して有事に備えています。例えば、小田原市にある「飯泉取水管理事務所」で酒匂川から取水された水が、川崎市にある「西長沢浄水場」まで届くのにかかる時間は約 10 時間。「1 時間後に 5000m^3/h 増量してほしい」といった各構成団体からの急な要望に対しても、NO ではなくて、どうすれば要望に近づけることができるかを一番に考えます。的確な判断を下すスピードも求められる仕事です。さまざまな条件が重なって水運用が難しい日があるのですが、何とかやりくりし無事に一日を終えることができたときの達成感は非常に大きいですね。

神奈川県内広域水道企業団
技術部　水運用センター
技師
曽根健夫さん

相模原浄水場の勤務を経て、今年から水運用に携わっています。水道は、生活に直接関わる重要なもの。減断水することがないように、また水を無駄にすることもないように、常に広い視野を持って、物事のその先を意識して判断することを心がけています。経験と知識が要求される仕事なので、神奈川県内にたくさんある給水地点ごとの特徴を覚えたり、過去のデータを見比べたり、覚えることが数多くあります。水を効率よく安定供給するために、先輩にアドバイスをいただきながら日々勉強しています。年末には、大みそかの 24 時間勤務が予定されています。大掃除や紅白歌合戦などの影響で水量の変動があると聞いているので、今から気を引き締めています。

Q1 「神奈川県内広域水道企業団」が一日に供給する水の最大量は、横浜ランドマークタワーの何個分？

Answer　B.1.3個分

Q2 「飯泉取水管理事務所」から「西長沢浄水場」まで（約 54km）水が到達するのにかかる時間は？

Answer　C.10時間

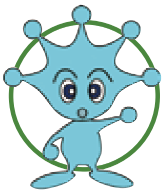
Q3 使用水量が多いのは、次の天気のうちどれ？

Answer　A.晴れの日

編集・制作／サンケイリビング新聞社

かながわ水道 NEWS & TOPICS

～神奈川県内広域水道企業団パートナーからのお知らせ～



横須賀市上下水道局

どんな時でも素早く出動！災害二輪調査隊

横須賀上下水道イメージキャラクター
アクアン

災害二輪調査隊「通称：ブルトラ隊」は、災害発生後、トライアルバイクで迅速かつ機動的に横須賀市上下水道局施設の被災状況を調査する職員で構成された部隊です。全国に先駆けて昭和62年に誕生しました。

災害二輪調査隊を紹介するポスター

隊員は通常、各々の職場で業務を行っています。例えば事務職員は総務やシステム管理、技術職員は設計や現場の監督などです。イベントでは、警察の白バイ隊にも引けを取らないデモンストレーションで子どもたちの心をつかみます。

でも普段は…。災害時のお願いと各家庭での日頃の備えを効果的にPRすることです。

起伏の多い横須賀市、どんな時でも素早く出動！　市内をかけ回る。渋滞でも大丈夫！　とても頼もしい部隊です。

横須賀　上下水　検索

神奈川県企業庁

「健康のため水を飲もう」運動を推進中です

県営水道キャラクター
カッピー

神奈川県営水道では、６月１日の「水道週間」から健康のために水道水などで水分補給することを啓発する「健康のため水を飲もう」運動を推進しています。

ロゴ入り広報グッズ

私たちが生きていくために欠くことのできない「水」を失うと様々な健康障害のリスク要因となりますが、こまめな補給で未然に防ぐことができます。この健康にとって欠かすことのできない水分を、生活の中で身近な存在である水道水で手軽に補給していただくため、秋には新たな広報用グッズとともにPR活動を展開していきます。ぜひ、イベントにお立ち寄りください！

水分補給で元気な毎日　検索

川崎市上下水道局

水源の森で遊ぼう！～山北町ー川崎市交流事業、大好評です～

川崎市上下水道局キャラクター
ウォータン

川崎市の水源の一つの丹沢湖がある山北町。この水源の森の現状をもっと知ってもらうために、平成24年度から始まった山北町ー川崎市交流事業も、今年度で3年目となりました。この事業では、川崎市民が山北町を訪ね、間伐などの水源林保全活動を体験するとともに、カブトムシ捕りやヤマメのつかみ捕りといった山北ならではの遊びのメニューも楽しめます。

間伐体験の様子

今年の夏も、間伐体験や下草刈りに汗を流したり、焼いたヤマメをほお張ったり、とれたてのトマトなども流れてくる流しそうめんを食べたりなど、様々な場面で、たくさんの親子の笑顔がこぼれていました。次回は11月29日（土）です。川崎市民の皆さんのご応募お待ちしています。

山北町ー川崎市交流事業　検索

横浜市水道局

提携施設も増えて魅力的に！水源通行手形

横浜市水道局キャラクター
はまピョン

水道を利用するお客さまに水源地への関心や親しみを持っていただき、水源地を訪れ、水源地域の方々と交流していただくことを目的に、県内５水道事業体は「水源通行手形事業」を実施しています。温泉施設や土産店など約80施設にご協力いただき、割引などの優待を楽しめます。この機会に、道志川・相模湖・津久井湖・丹沢湖・宮ヶ瀬湖の5つの水源地へ遊びに行きませんか。手形は水道局の窓口、水源地の観光案内所などで配布しています。

水源かん養林の間伐材で作った水源通行手形

※配布は平成26年12月26日（金）まで、優待は平成26年12月31日（水）まで

横浜水道　水源通行手形　検索

平成25(2013)年度 決算の概要

■ 構成団体への給水量

○年間総供給量　589,412,830 立方メートル（東京ドーム約 475 杯分）構成団体全体の 56.8%

○一日平均供給量　1,614,830 立方メートル

■ 重点施策　「安全」「防災」「環境」を柱とした事業運営

○「安全」～安定した供給体制を持続させるための施策

・平成 24 年 12 月に発生した中央自動車道笹子トンネル天井板崩落事故を踏まえた施設の緊急点検の実施

・老朽化対策として、伊勢原浄水場沈でん池傾斜板の改良や相模原浄水場急速ろ過池の修繕などの工事を施工

・管路の保全対策として相模川水路橋及び水管橋（7 か所）の健全度調査を実施し、安全を確認

相模川水路橋

○「防災」～災害に強い用水供給システムを実現するための施策

・矢指、保木及び渕野辺の各調整池と綾瀬浄水場の耐震補強工事を実施

・緊急時に備え、横浜市の相模湖系導水管から相模原浄水場へ導水（最大 12 万㎥ / 日）するため、場内の返送ポンプ設備を増設

矢指調整池　耐震工事

○「環境」～環境に配慮した用水供給システムを実現するための施策

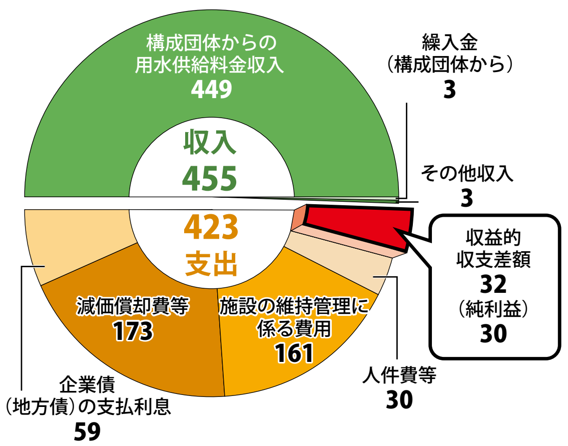
・相模原浄水場敷地内に太陽光発電設備を設置（一般家庭が 1 年間に使う電力の約 27 世帯分に相当［10 万 kWh/ 年]）

相模原浄水場　太陽光発電設備

収益的収支

（水道用水の供給に要する収入・支出）

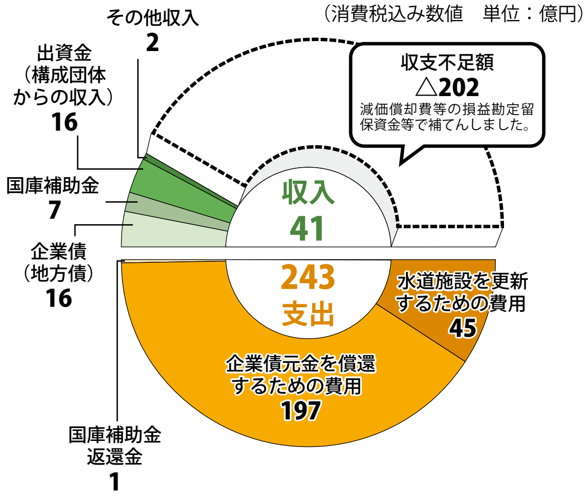
（消費税込み数値　単位：億円）



資本的収支

（施設の建設・改良に関する収入・支出）

（消費税込み数値　単位：億円）



Mizuki TIMES みずきタイムズ

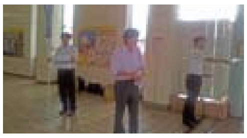
水道企業団キャラクター
ウォービー

～安全・安心な水道用水の安定的な供給に向けて～

水道週間

海老名で「水道週間」をPR

毎年、6月1～6日は、水道について県市民（国民）の理解と関心を高めることを目的とした「水道週間」となっていますが、当企業団では、その一環として、平成26年6月5日に、海老名駅自由通路において、チラシ・グッズ配りを行い、企業団のPRを行いました。



広報イベント参加

かながわの水源地域キャンペーン

平成26年8月31日、水源地域交流の里づくり推進協議会（神奈川県）主催で、川崎アゼリア・サテライト会場において開催された「かながわの水源地域キャンペーン」に参加しました。

災害対策への取組

静岡県大井川広域水道企業団との合同訓練の実施

当企業団と「災害時における相互応援に関する協定」を締結している静岡県大井川広域水道企業団と本協定の一環として、平成26年6月23日・24日に、合同訓練を実施しました。

大井川水道企業団が被災したと想定し、当企業団職員4名が大井川水道企業団に出向き、調整池での合同応急給水訓練等を行いました。

地震防災訓練

平成26年9月1日の「防災の日」に、地震防災訓練（一時避難）及び安否確認訓練を行いました。

社会貢献

ピンクリボンセレモニー(楯授与他)

平成26年9月23日、横浜公園において、「ピンクリボンかながわ2014」が開催され、この中で、当企業団は、ピンクリボン活動を応援する水缶「やまなみ五湖のブレンド水」を製作したことを受け、ピンクリボンかながわの土井卓子代表から表彰楯を授与されました。

また同月26日に神奈川県庁において開催された「ピンクリボン ライトアップセレモニー」に参加し、来場者へ水缶の配布を行いました。

人事交流

他団体（阪神水道企業団）との人事交流

平成26年8月18日～平成26年10月3日において、阪神水道企業団との間で、職員の人事交流（職員1名相互派遣）を行いました。

その他

みずきフェスタを開催

平成26年7月26日に開催した水道企業団広報イベント「みずきフェスタ」では、暑い中、昨年度を上回る多くの方々に、ご来場いただきました。

「ウォービー」デビュー

当企業団キャラクター「ウォービー」が、この度、「みずきフェスタ」において、デビューしました。今後のご愛顧をよろしくお願いいたします。

野鳥観察会の開催について

今年も、平成26年11月29日（土、10:00～15:00）に、飯泉取水管理事務所（小田原市飯泉884番地）で開催いたしますので、ご家族お揃いで、お越しください。野鳥観察のほか、リニューアルした水缶等、広報グッズを配布します！

ユリカモメ

発行／平成26年10月
神奈川県内広域水道企業団
〒241-8525 神奈川県横浜市旭区矢指町1194番地
TEL.045-363-1111（代表）　FAX.045-363-1121

http://www.kwsa.or.jp
神奈川企業団　検索

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています